

地域連携の推進に向けて

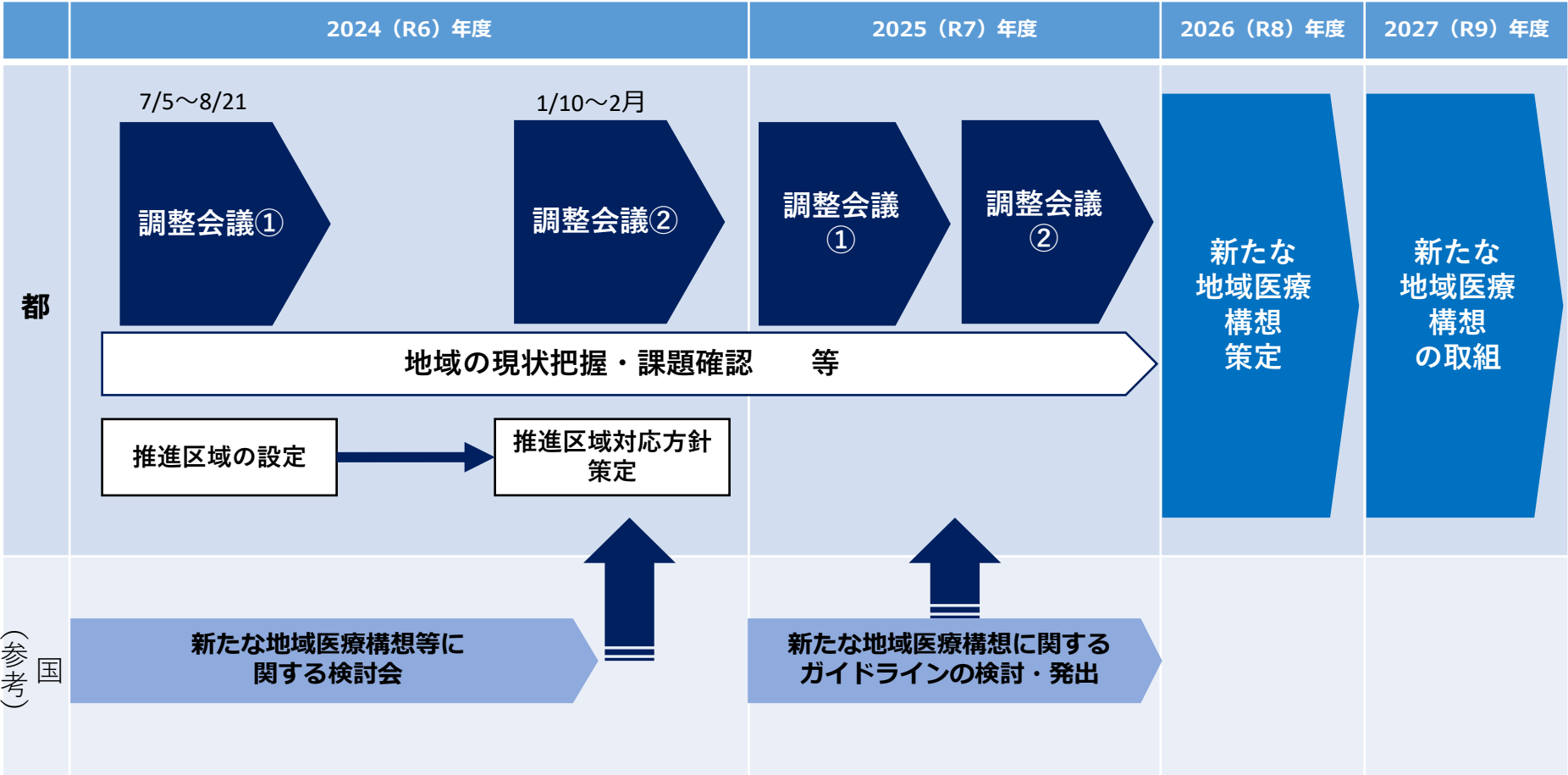
東京都保健医療局医療政策部

1 今後の調整会議の進め方のイメージ

《今後の進め方》

推進区域の設定をきっかけに、調整会議で地域の医療提供体制の**現状把握**や**課題の確認等**を行い、国の検討会の議論も踏まえながら、**新たな地域医療構想策定に向けた準備**を推進

《スケジュール案》



② 都の推進区域の区域対応方針（案）について

概要

- 国は2025年に向けた地域医療構想の取組を進めるため、推進区域を設定し区域対応方針を策定するよう通知【国事務連絡：参考資料3】
- 区域対応方針では推進区域のグランドデザイン、課題、課題解決に向けた具体的な対応方針や取組等を記載することとされており、国の様式例を参考に都の区域対応方針（案）を作成【資料7-2】

2025年に向けた対応方針（案）のポイント

グランドデザイン

- ・H28.7策定の地域医療構想で「東京の2025年の医療～グランドデザイン～」として、「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる『東京』」を描き、その実現に向けた4つの基本目標を掲げ、取組を推進
 - ・H30.3保健医療計画改定時に地域医療構想を計画に一体化させ、「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる『東京』」を計画の基本理念とし、地域医療構想の実現に向けて疾病・事業ごとの取組を推進
- ⇒2025年に向けては現在の地域医療構想のグランドデザインを継続し、医療機関等の地域や地域を越えた連携を全区域で推進

課題

- ・2025年に向けて、高齢化の進展の中で切れ目のない質の高い医療を効率的に提供するため、医療機関等における地域や地域を越えた連携の一層の促進が必要
- ・2040年を見据え、医療と介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口増や生産年齢人口減による医療従事者確保の制約が指摘される中、医療だけでなく介護・区市町村等の関係者間で一層連携が深まるよう議論が必要

今後の対応方針等

	対応方針	取組	到達目標
2025年に向けた対応	医療機関等における地域や地域を越えた連携を促進	・データを活用し地域の医療提供体制の現状把握・課題確認を行い、連携促進に向けた取組等の検討 ・入院医療と在宅医療関係者等の相互理解が深まるよう、調整会議と在宅療養ワーキンググループ間で情報共有等の連携を実施	・2025年に向けた各医療機関の対応方針の策定率を都全体で100%達成 ・地域の医療機関等の連携強化 ・病院・診療所と地域の多職種間の相互理解と連携強化
2040年を見据えた対応	医療だけでなく介護・区市町村等関係者間の連携推進のための議論	・新たな地域医療構想に関する検討で挙げられた医療機関に関する事項等について必要な議論	・新たな構想の各事項の必要な議論 ・新たな構想策定に向けた必要な協議の場準備

③ 意見交換「地域連携の推進について」

「地区診断」に関するデータと事前アンケート結果を踏まえ、

✓ 各区域の医療の状況やニーズに合った医療提供体制の構築に向け

「地区診断」を行い、地域の連携を推進

✓ 今回は今後更なる増加が見込まれる高齢患者に多い疾患の地域のデータや医療機関連携の状況を用意

高齢患者の受入れについて、現状や課題、今後の取組に関して意見交換をお願いしたい。

【意見交換のための参考資料】

① 「地区診断」のための
関連データ

国の研修会で示された構想区域ごとの「地区診断」のための関連データ
(DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」)

⇒ 参考資料5：「地区診断」のための関連データ

② 都内全病院への
事前アンケート結果

地域の医療提供体制上の連携等に関する影響や対応している取組について、
事前にアンケートを実施

⇒ 資料7-3：地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答
参考資料6：事前アンケート内容